

テーマ

結成40年、地域の伝統芸能「掛合太鼓」の保存の継承

事業実施地区（中学校区名）	掛合中学校区
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	掛合自治振興会、多根の郷 松笠振興協議会、波多コミュニティ協議会 入間コミュニティー協議会

テーマの背景

結成40周年を迎えた掛合太鼓は、**地域の伝統芸能として**学校教育でも早くから取り組み、町内の小学校・中学校の総合学習の時間等で体験を行ってきた。特に、小学校で演奏する「はやしこ太鼓」は、これまで卒業生全員が一度は演奏している。そこで、地域の名所・旧跡を基に作曲された掛合太鼓曲を通して、地域の良さ・表現活動等に結びつけ、学校での学びを深化させる。また、地域の打ち手である大人が、**児童生徒への掛合太鼓曲の指導を通して**地域の伝統文化の継承を行い、次世代に引き継ぐ意識の醸成を図る。

実際の取組

①学校で学んだことを実践できる場を設定

事業名：地域発表会 掛合町ふるさとまつり 掛合太鼓揃いうち

<取組の概要>

目的 同じステージでの合同演奏

対象 小中学生・地域住民

実施場所 雲南市立掛合中学校 グラウンド

具体的な内容

- ・掛合太鼓曲の一つ「はやしこ太鼓」を、大人・小学生・中学生の**総勢100名**の合同演奏により、地域の秋の一大イベント「掛合町ふるさとまつり」で披露する。



<成果と課題>

- ・普段は、同じ校種でしか関わりの無い子どもたちが、大人や違う校種との練習から合同演奏の機会を通じて、小学生にとっては中学生や大人の太鼓演奏の違いなどを身近に感じる機会となったり、中学生も大人と一緒に演奏することで、**普段の演奏では**感じれないものが得られる**貴重な機会**となった。ただ、大人と子どもとが対話により関わり合う時間が**十分にとれなかったこと**もあり、**今後は**関わりの時間を増やすことが**求められる**。

①学校で学んだことを実践できる場を設定

事業名：地域発表会 掛合太鼓結成40周年記念フェスティバル

<取組の概要>

目的 今年で40周年を迎える掛合太鼓の記念事業に参加し、練習した曲の披露を行うとともに、全国・町外の太鼓チームの演奏も見学することで、地域の伝統芸能で掛合太鼓の良さを改めて発見する機会とする。

対象 小中学生・地域住民

実施場所 雲南市掛合体育館

具体的な内容

- ・掛合太鼓曲の披露
- ・全国有数の太鼓チームの演奏を見学



<成果と課題>

・照明器具や音響などの揃った舞台、多くの観衆の前で太鼓を披露する機会は当地区ではなかなかなく、普段は体験出来ない貴重な体験となった。また、記念行事ということで、地元の団体以外の県外の全国で活躍する太鼓チームの演奏を聴く機会もあり、太鼓一つをとっても大きな違いを感じられる機会となった。また、これまで本番の舞台を何度か経験したことで、教えられたことを大きな舞台でも堂々と体現するということが少しずつできるようになってきた。反省点としては、他団体との交流という貴重な機会でもあったので、もう少し交流する時間の確保が必要だった点が挙げられる。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

地域の伝統芸能を知るには、体験することが一番の早道で簡単なことではあるが、体験だけでは無く、今後の事業に継続性をもたせるためには、次の点の考慮が必要。

①自分の体験した事柄を、人に伝えること。

- ・伝えるためには、自分で伝える内容を整理する必要がある、逆に理解を深めることになる。

②体験した曲の成り立ち・背景にせまること。

・太鼓曲は、地域名所・旧跡などに関連された曲になっており、演奏する上でも一つの要素になっている。地域を知る上でも必要なことといえる。

今後の展望

少子高齢化の進む過疎地域の中で、太鼓の活動一つをとっても打ち手の育成・指導者の育成が課題となっている。そんな中でも、小学校で取り組んだ「はやしこ太鼓」を地域住民すべての人ができること、子どもたちが大人になってはやしこ太鼓や笛の音を聞いたとき当地域のことを思い出すような取組を目指して、今後も学校と地域の協働を継続していきたい。